

【プロポザール参考資料】

やんばる観光地域づくり戦略策定事業 基礎調査業務

報告書

目次

第1章 やんばる観光地域づくりにあたって	1
1. DMO検討の必要性和本調査の目的.....	1
(1)DMO検討の必要性.....	1
(2)本調査の目的.....	1
2. DMO検討の背景.....	2
(1)北部地域における観光連携体制の検討経緯.....	2
3. 北部地域の現状.....	3
(1)北部地域の人口.....	3
(2)北部地域の産業.....	4
(3)北部地域の所得.....	6
(4)観光産業.....	10
(5)交通体系.....	20
第2章 行政・観光協会等の実態と市場分析	31
1. 国・沖縄県のDMOの位置づけ.....	31
(1)国の政策における位置づけ.....	31
(2)沖縄県の観光振興における位置づけ.....	31
2. 市町村・観光協会等の実施内容.....	32
(1)観光関連計画の整理.....	32
(2)各市町村観光関連事業取り組みからみる事業内容.....	41
(3)各観光協会の取り組み内容.....	46
(4)行政・観光協会・観光関連事業者向けヒアリング調査.....	51
3. 北部地域の観光関連調査の整理.....	61
(1)北部地域の観光統計実態調査.....	61
(2)主要ホテルの稼働状況の把握.....	69
(3)沖縄県観光産業実態調査.....	71
(4)沖縄観光に関する県民意識の調査および分析委託業務報告書.....	78
(5)RESASによる北部地域の実態調査.....	83
(6)観光関連データを取り巻く概況.....	85
4. 観光意識アンケート調査.....	93
(1)調査概要.....	93
(2)調査結果.....	94
5. 行政・観光協会・観光関連事業者向けセミナーの開催.....	118
(1)セミナー概要.....	118
(2)セミナー内容.....	119

(3)参加者の声.....	122
6. 観光課題の整理.....	124
(1)観光動向に関するデータの不足.....	124
(2)情報の集約・発信の不足.....	124
(3)基幹人材の不足.....	124
(4)業界全体の人手不足.....	125
(5)二次交通の不足.....	125
(6)様々な協議会の役割の整理が必要.....	125
第3章 地域連携DMOに関する調査.....	127
1. DMOの役割.....	127
(1)観光庁の示すDMOの役割.....	127
2. DMOの組織形態.....	130
(1)法人の形態.....	130
(2)組織体制.....	132
3. DMOの財源.....	134
(1)財源の種類.....	134
(2)財源の内訳と規模.....	135
(3)財源の可能性と課題.....	136
4. 先進事例調査.....	149
(1)国内DMO事例調査.....	149
(2)国外DMO事例調査.....	152
(3)先進地視察調査.....	153
第4章 調査結果のまとめ.....	160
1. 北部地域における観光の課題とDMOの必要性.....	160
(1)データマーケティングに基づく戦略づくり.....	160
(2)情報の集約と共有.....	165
(3)エリアサポーターによる連携強化と地域支援.....	171
(4)広域的課題への対処.....	173
2. やんばる版地域連携DMO設立の方向性について.....	174
【参考資料】.....	175

第1章 やんばる観光地域づくりにあたって

1. DMO検討の必要性と本調査の目的

(1) DMO検討の必要性

- ・ 我が国では、人口減少・少子高齢化に直面するなか、観光は「地方創生」の切り札として、観光消費額を拡大させ、地域を活性化させる原動力としている。こうした取り組みを進めるため、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔としての役割を果たす、観光地域づくり法人「DMO※」を核とした観光地域づくりを進めている。
- ・ 令和5年(2023年)3月に改訂された「観光立国推進計画」でも、観光はコロナ禍を経ても成長戦略の柱、地域活性化の切り札であり、国際相互理解・国際平和にも重要な役割を果たすものとして、コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、我が国の観光を持続可能な形で復活させるとし、観光地域づくり法人(DMO)を司令塔として位置づけている。
- ・ 観光立国である沖縄において、北部地域でも観光を軸とした産業振興が続けられてきたが、コロナ禍のなかで観光産業が大きなダメージを受けており、今後のV字回復に向けて取り組みを強化していく必要がある。
- ・ こうしたなか、令和3年(2021年)に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録が実現し、令和7年度(2025年度)開業予定のテーマパーク建設計画などにより観光振興の気運が高まっている。これを経済活性化につなぐためには、観光産業を基軸に「稼ぐ力」を付ける仕組みが必要である。
- ・ 一方で、やんばるの歴史・文化・自然は今後の沖縄観光の大きな財産であり、コロナ禍以前のようなオーバーツーリズムの状態では観光資源を損ねてしまうことも懸念され、大切な資源を適切に守る必要がある。
- ・ 持続可能な観光地を作っていくため、北部地域全体の観光地経営の視点に立ち、「稼ぐ」ことと、「守る」ことを適切にマネジメントしていく、地域連携DMOの必要性があげられてきた。

※DMO: Destination Management/Marketing Organization (観光地域づくり法人)

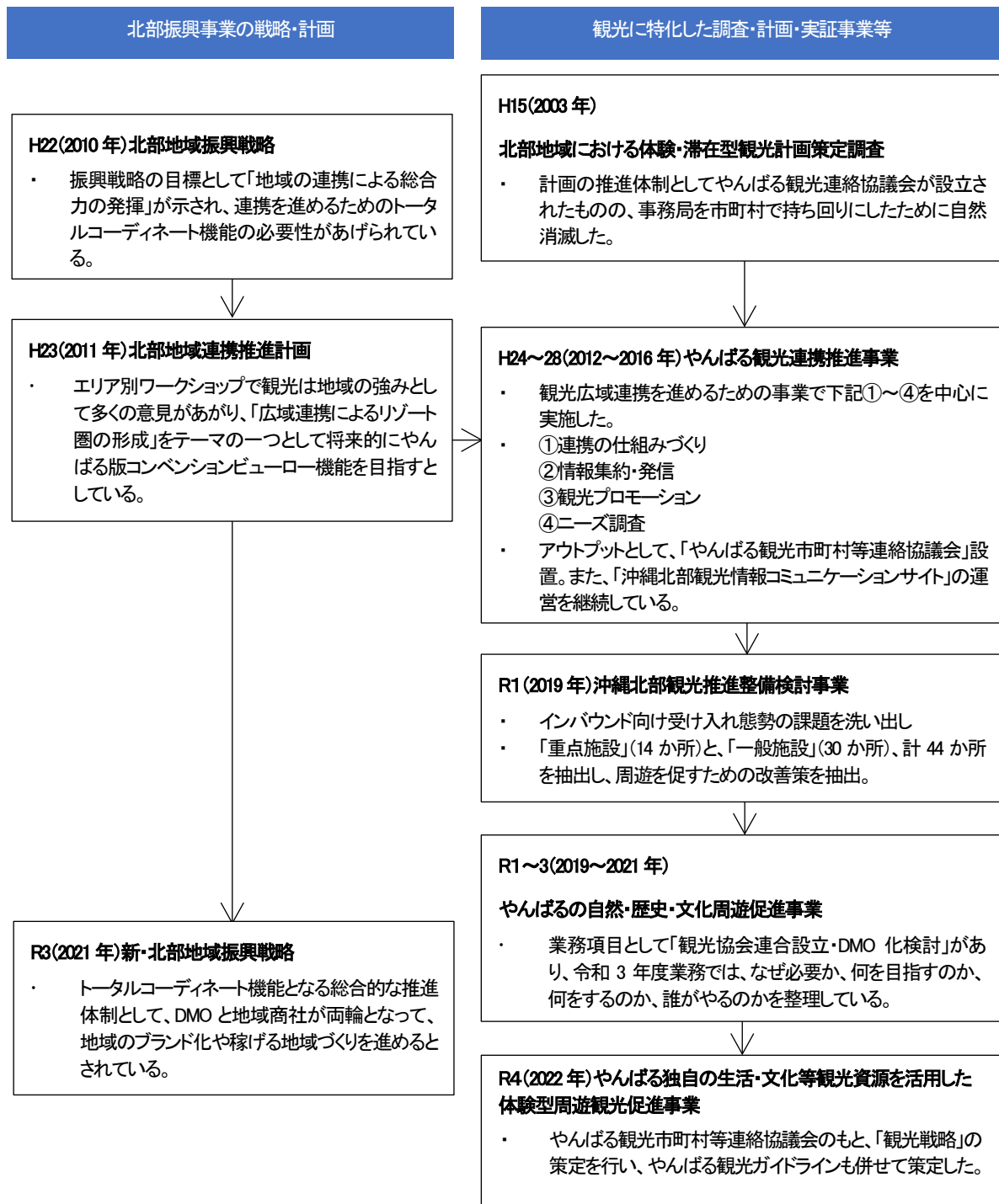
(2) 本調査の目的

- ・ 北部地域(通称「やんばる」)では、豊かな自然環境を活用した観光が盛んであり、観光産業は地域経済活性化に欠かせない主要産業である。その一方で、観光地経営の高度化やブランディング強化、産業間連携による域内観光消費の最大化などが課題となっており、新たな観光ニーズへの対応、地域資源の磨き上げによる高付加価値化、観光DXの推進が求められている。
- ・ これらの課題を解決するため、観光地経営や地域づくりを担い観光振興を牽引する組織としての地域連携DMOの必要性が示されており、その設立により地域資源を最大限に活かした観光地経営を具現化し、市町村や産業間の連携による観光関連産業の成長を促進する必要がある。
- ・ 今年度は、コロナ後の北部地域の観光実態を把握するとともに、課題認識による詳細な戦略策定に向けた役割の整理、財源検討、専門人材の確保・連携など、地域連携DMOの本格的な組織化に向けた詳細な基礎調査、分析等を行う。

2. DMO検討の背景

(1) 北部地域における観光連携体制の検討経緯

- ・ 北部地域では、かねてより「やんばるはていーち(一つ)」として、北部広域の連携を進めてきた。
- ・ 北部振興策がスタートした平成 12 年(2000 年)ごろ、観光ニーズの多様化が進む中、様々な取り組みが個々で進められ、横の連携が必要とされてきた。
- ・ 平成 22 年度(2010 年度)の北部地域振興戦略では「地域の連携による総合力の発揮」が示され、広域連携による取り組みが重視されるようになり、観光振興においても、周遊・滞在・消費を促進するため、個々の取り組みをつなぎ連携するための仕組みづくりを進めてきた。

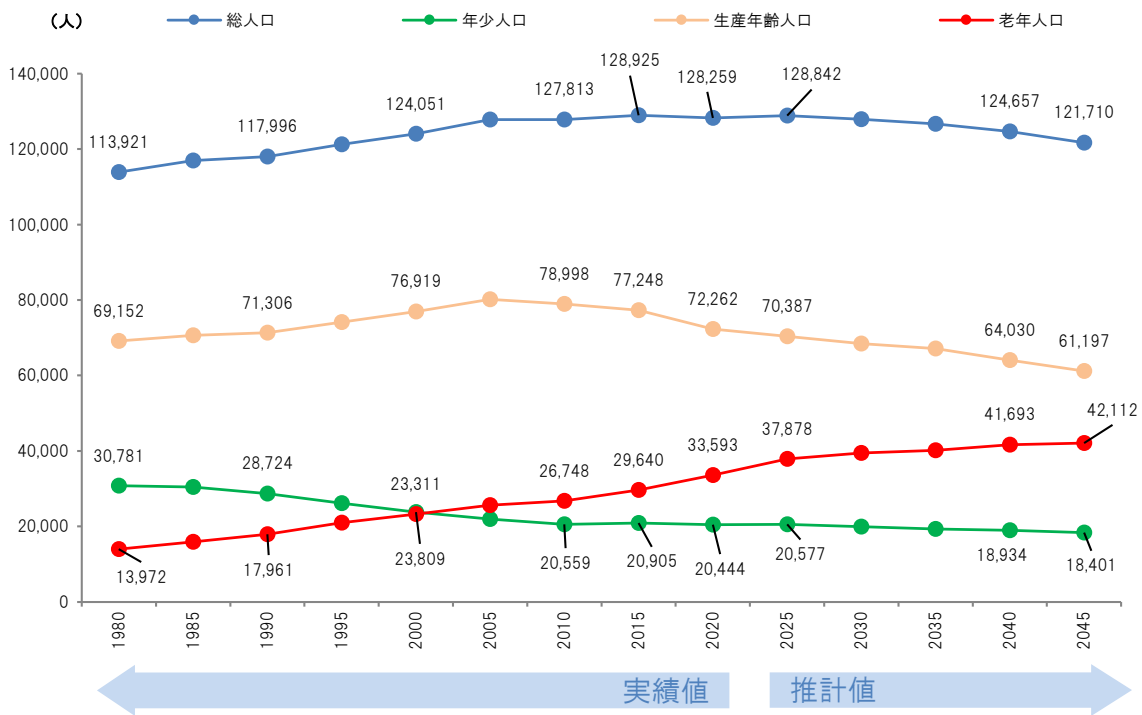


3. 北部地域の現状

(1) 北部地域の人口

- 北部地域の人口は、昭和 55 年(1980 年)の 113,921 人から平成 27 年(2015 年)の 128,925 人まで、15,004 人増加したが、令和 2 年(2020 年)は 128,259 人となり、減少に転じた。令和 7 年(2025 年)の推計値は 128,842 人となっているが、以降は減少傾向となることが推測されている。
- 生産年齢人口(15 歳～64 歳)も平成 17 年(2005 年)をピークに減少傾向にある。
- 年少人口(15 歳未満)は昭和 55 年(1980 年)以降減少傾向が続き、高齢人口(65 歳以上)については、昭和 55 年(1980 年)以降増加傾向にある。

図:1-1 北部地域人口の推移予測



出典:総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

注:令和 7 年(2025 年)以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ平成 30 年(2018 年)3 月公表に基づく推計値

(2) 北部地域の産業

①産業構造（第1次、第2次、第3次）

- ・ 沖縄県の売上別産業構造(平成 28 年, 2016 年)をみると、沖縄県は第 1 次産業が 1%未満で、第 2 次産業は、20%へ減少し、第 3 次産業については、約 75%から約 80%へ増加している。
- ・ 北部地域については、農業や漁業などが含まれる第 1 次産業は 2%弱となり、建設業が多い第 2 次産業の売上は増加した。ホテルなどが含まれるサービス業の第 3 次産業は売上が増加しているが、比率は横ばいである。
- ・ 沖縄県では卸・小売、医療・福祉などのサービス業である第 3 次産業が全体の 8 割を占める構造となっている一方、北部地域は建設業や製造業などの第 2 次産業が 4 割近く占めるなど、県と北部では、産業構造が異なっている。

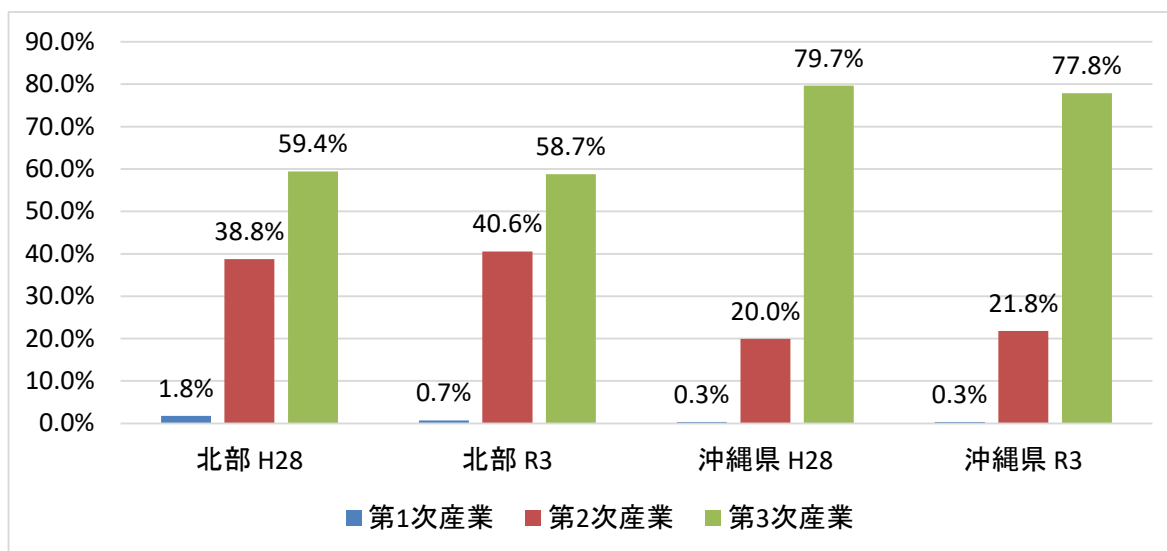
表:1-1 北部地域、沖縄県の売上別産業構造

単位:百万円

	北部				沖縄県			
	H28 (2016)		R3 (2021)		H28 (2016)		R3 (2021)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
第1次産業	5,882	1.8%	2,503	0.7%	26,222	0.3%	25,423	0.3%
第2次産業	128,187	38.8%	144,385	40.6%	1,536,006	20.0%	1,650,494	21.8%
第3次産業	196,507	59.4%	209,145	58.7%	6,128,002	79.7%	5,890,002	77.8%
合計	330,576	100.0%	356,033	100.0%	7,690,230	100.0%	7,565,919	100.0%

出典:RESAS 総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工(平成 23 年以前のデータがないため H24 年から開始)

図:1-2 県・北部地域別産業構造構成比

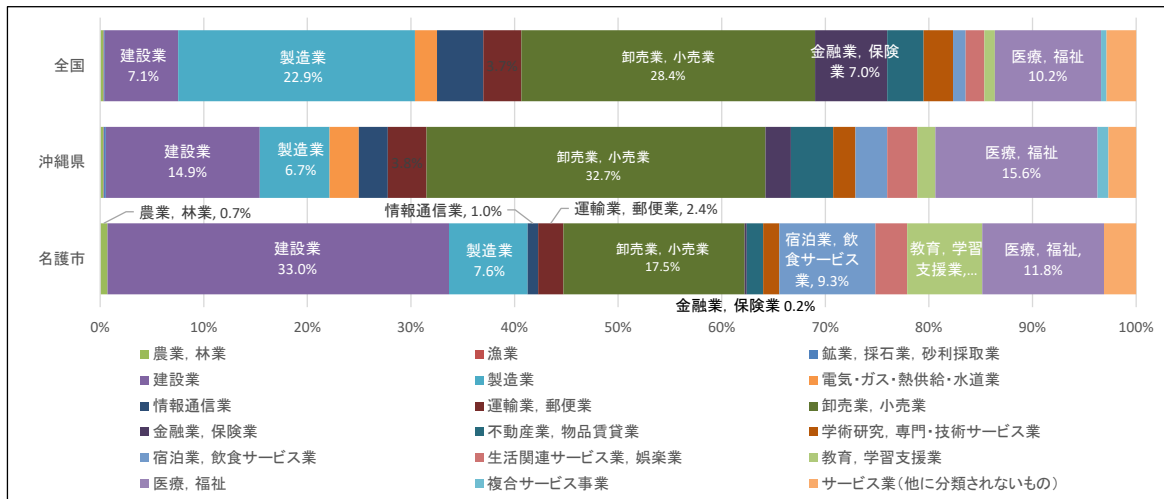


出典:RESAS 総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工(平成 23 年以前のデータがないため平成 24 年から開始)

②産業大分類別に見た売上の構成比

- 産業大分類別に見た売上の構成比を見ると、北部地域で最も多いのが建設業であり、続いて卸売業・小売業である。北部の特徴としては、全国や沖縄県と比較して農業や建設業、宿泊業・飲食サービス業などの比率が高くなっている。

図：1-3 令和3年(2021年)産業大分類別に見た売上高(企業単位)の構成比 (全国・県・北部で比較)

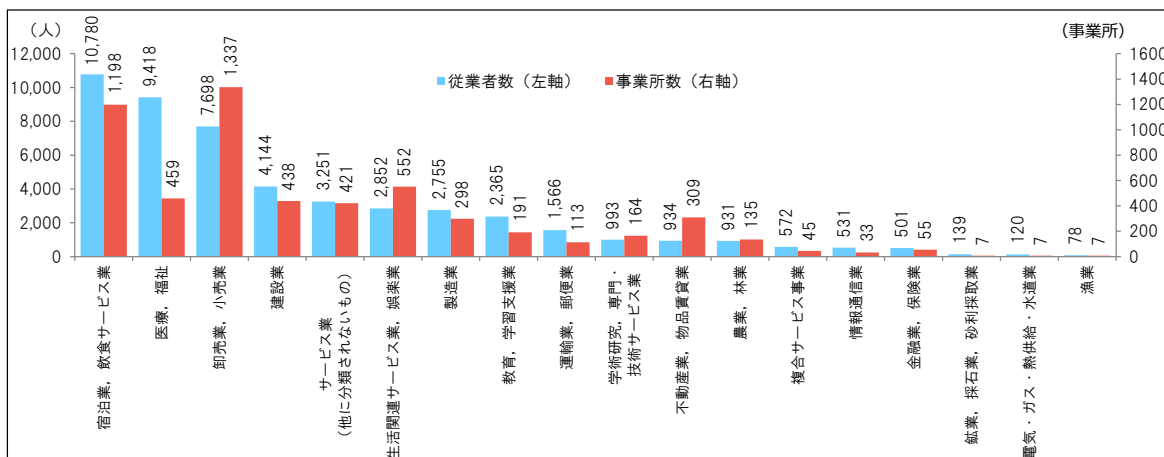


出典：総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工
 注：企業数については、会社数と個人事業所を合算した数値。従業者数は事業所単位の数値。

③産業大分類別に見た従業者数

- 北部地域の産業大分類別に見た従業者数は、最も多いのが、宿泊業・飲食サービス業(10,780人)であり、医療・福祉(9,418人)、卸売業・小売業(7,698人)と続く。
- 事業所数では、最も多いのが卸売業・小売業(1,337事業所)、であり、宿泊業・飲食サービス業(1,198事業所)、生活関連サービス業(552事業所)と続く。

図：1-4 令和3年(2021年)産業大分類別に見た従業者数(事業所単位)と事業所数



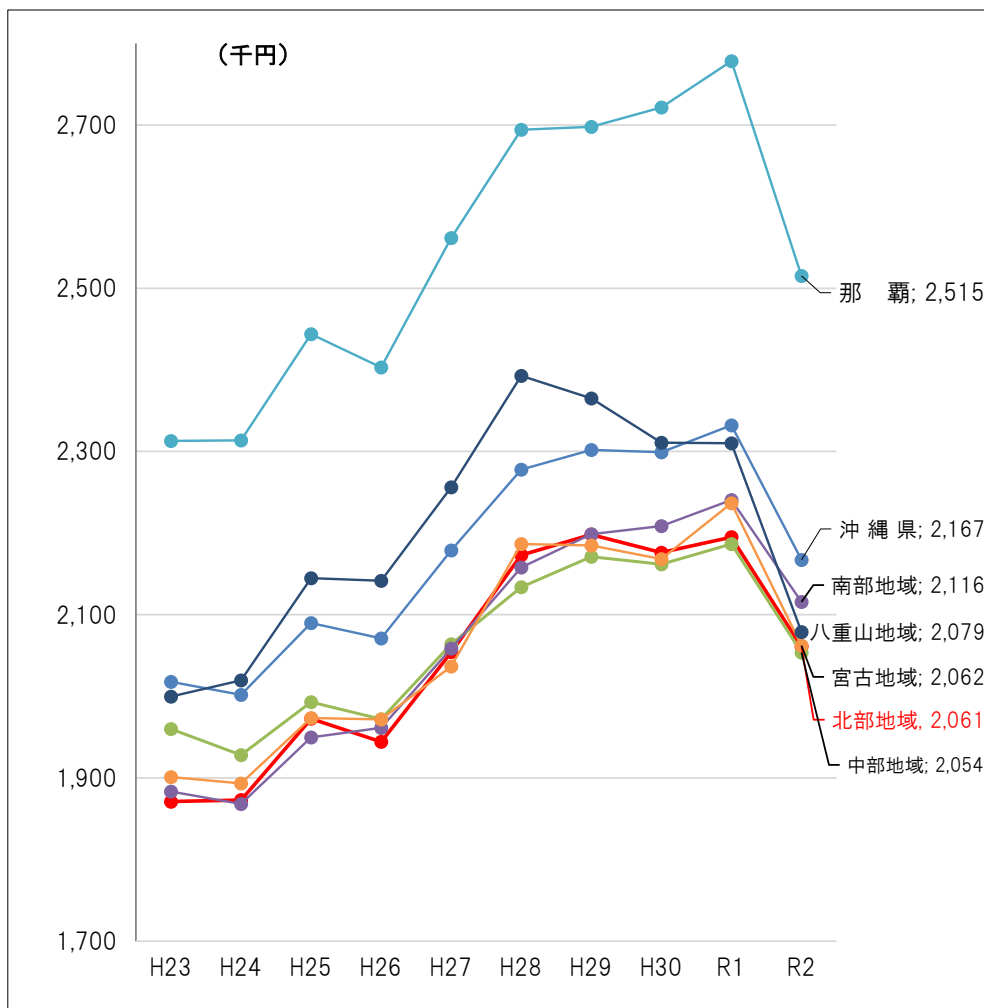
出典：総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

(3) 北部地域の所得

①一人当たり市町村民所得

- ・ 沖縄県内の一人当たり市町村民所得を地域別にみると、北部地域は、平成 23 年(2011 年)は 1,871 千円で最下位であった。平成 24 年(2012 年)以降も沖縄県全体の 93.6%~95.5%で推移している。
- ・ 令和 2 年(2020 年)は、コロナ化で全県的に急落し、北部地域は 2,061 千円で沖縄県全体の 2,167 千円の 95.1%となっている。

図:1-5 一人あたり市町村民所得の推移



	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
沖縄県	2,018	2,002	2,090	2,071	2,179	2,278	2,302	2,299	2,332	2,167
北部地域	1,871	1,873	1,973	1,944	2,054	2,173	2,198	2,176	2,195	2,061
北部/県	92.7%	93.6%	94.4%	93.9%	94.3%	95.4%	95.5%	94.7%	94.1%	95.1%
中部地域	1,960	1,928	1,993	1,972	2,064	2,134	2,171	2,162	2,187	2,054
南部地域	1,883	1,868	1,950	1,962	2,059	2,158	2,199	2,209	2,241	2,116
那覇	2,313	2,314	2,444	2,403	2,561	2,694	2,698	2,721	2,778	2,515
宮古地域	1,901	1,893	1,973	1,972	2,037	2,187	2,185	2,168	2,237	2,062
八重山地域	2,000	2,020	2,145	2,142	2,256	2,393	2,365	2,311	2,310	2,079

出典:沖縄県市町村民所得

②一人当たり雇用者報酬

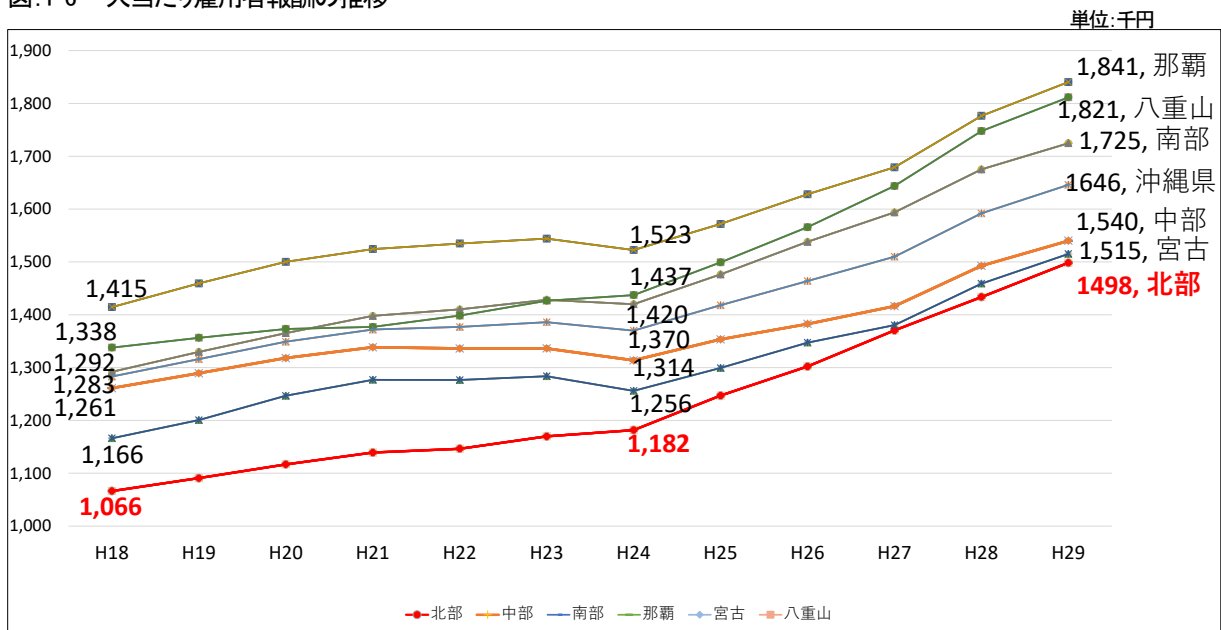
- 一人あたり市町村民所得は、雇用者報酬、財産所得、企業所得からなり、平成 29 年度の沖縄県の市町村民所得は 2,349 千円であり、そのうち雇用者報酬は 1,646 千円と全体の 70%を占めている。北部地域の雇用者報酬が占める割合は 66.5%と県と比べて低く、その分財産所得や企業所得の割合が高くなっており、雇用者に対する配分が少ない。
- 北部地域は一人当たりの市町村民所得で、中部を抜いて最下位を脱したが、雇用者報酬は、平成 18 年度～29 年度(2006 年度～2017 年度)にわたり、他の地域を上回ることなく、県内最下位が続いている。

表:1-2 雇用者報酬、財産所得、企業所得について

雇用者報酬:労働を提供した雇用者への分配額。賃金俸給に医療保障・年金給付・失業保障等の雇主負担金、退職一時金・公務災害補償費等無基金による負担金を含めた金額
財産所得 :金融資産の所有者が他の経済主体に対して資金を提供する見返りとして受け取る「投資所得」と、土地等の所有者が他の経済主体に対してこれらを提供する見返りに受け取る「賃貸料」
企業所得 :営業利益に受取利息などの営業外収益を加え、支払利息などの営業外費用を除いた、いわゆる経常利益に相当する

出典:沖縄県市町村民所得

図:1-6 一人当たり雇用者報酬の推移



出典:沖縄県市町村民所得(平成 17 年以前のデータがないため平成 18 年から開始)

③有効求人倍率

- 令和4年度(2022年)の月平均有効求人倍率(求人数/求職者数)は、沖縄労働局(県全体)の1.04倍に対し、名護所は1.31倍と高くなっている。

表:1-3 有効求人倍率 令和4年度(2022年度)月平均

令和4年度	月間有効求人数 (就業地:月平均)	月間有効求職者数 (オンライン含む:月平均)	有効求人倍率
那覇所	15,466	15,979	0.97
沖縄所	9,840	10,608	0.93
名護所	2,530	1,937	1.31
宮古所	2,359	1,188	1.99
八重山所	1,928	1,054	1.83
沖縄労働局	32,123	30,765	1.04

沖縄労働局職業安定課より

※注:名護所の管轄は名護以北の9市町村(恩納村、宜野座村、金武町は沖縄所管内)

資料提供:沖縄労働局職業安定課

④地域経済循環図

- RESAS では地域経済の全体像と生産・分配・支出の各段階におけるお金の流出・流入の状況を示す地域経済循環図を掲載している。「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域からの流入所得に対する依存度が高くなる)
- グラフの中で使用する「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給与等を指し、「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金など、雇用者所得以外の所得により構成されるものを指す。「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出輸入差額」により構成されるものを指す。
- 北部12市町村について調査を行ったところ、北部地域全体の地域経済循環率は68.7%となり、沖縄県の80.6%と比べて10ポイント以上の差がある。
- 北部12市町村の地域経済循環率については、恩納村(88.7%)、名護市(78.4%)、金武町(73.6%)の順で高い。これらの市町村は比較的地域外への流出(支出)が抑えられている。他の市町村の地域経済循環率は約28%~約50%で推移しており、その分地域外へ流出している。

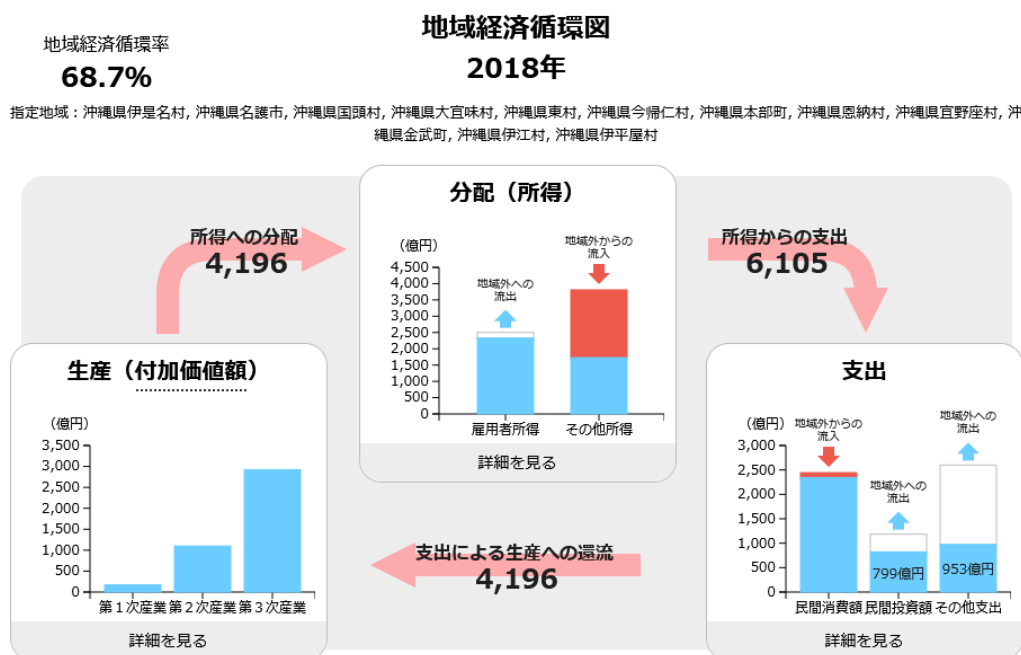
表:1-4 北部 12 市町村地域経済循環率(平成 30 年,2018 年)

単位:億円

	生産	分配	(流入)	支出	(流出)	地域経済循環率
名護市	2,024	2,582	558	2,024	558	78.4%
国頭村	132	279	147	132	147	47.6%
大宜味村	80	161	81	80	81	49.8%
東村	57	140	83	57	83	40.7%
今帰仁村	177	363	186	177	186	48.8%
本部町	392	564	172	392	172	69.6%
恩納村	618	698	80	618	80	88.7%
宜野座村	149	304	155	149	155	49.1%
金武町	351	477	126	351	126	73.6%
伊江村	119	272	153	119	153	43.9%
伊平屋村	49	171	122	49	122	28.8%
伊是名村	46	96	51	46	50	47.7%
北部地域	4,196	6,108	1,912	4,196	1,912	68.7%
沖縄県	44,521	55,252	10,731	44,521	10,731	80.6%

出典:RESAS地域経済循環マップを元に加工

図:1-7 北部 12 市町村全体の地域経済循環図



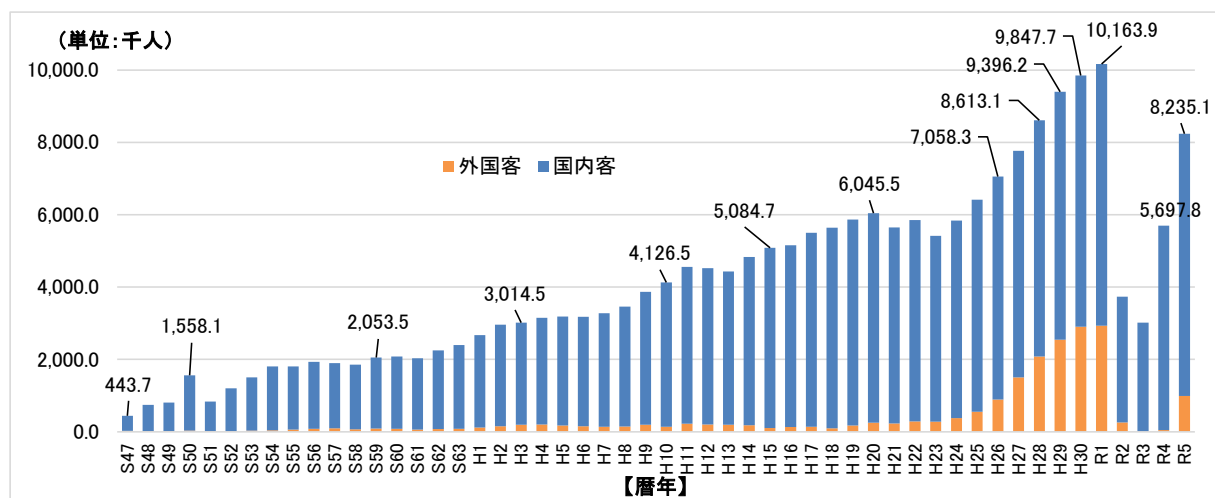
出典:RESAS 環境省「地域産業連関表」・「地域経済計算」

(4) 観光産業

① 観光客数

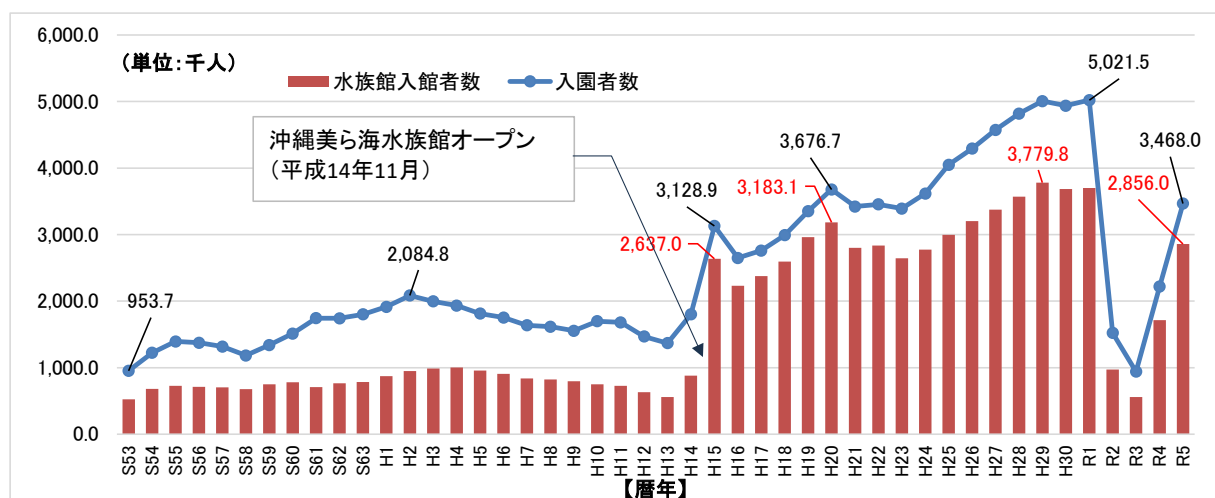
- ・ 沖縄県の入域観光客数は令和5年(2023年)で823万5,100人、コロナ禍以前に最多であった令和元年(2019年)の81.0%の水準まで回復している。(うち外国人客は98万6,000人)
- ・ 北部地域に特化した入域観光客数のデータは無いが参考として、観光客の来訪が最も多いとされる海洋博公園の令和5年(2023年)の入園者数は、346万8,000人となっている。(入園者数に県内客も含まれる)
※海洋博公園HPより月別入園者数を積算

図:1-8 沖縄県 年次別入域観光客数の推移【暦年】



出典: 沖縄県観光要覧及び沖縄県入域観光客統計概況より作成

図:1-9 海洋博公園入園者数及び美ら海水族館入館者数 年次別入園者数



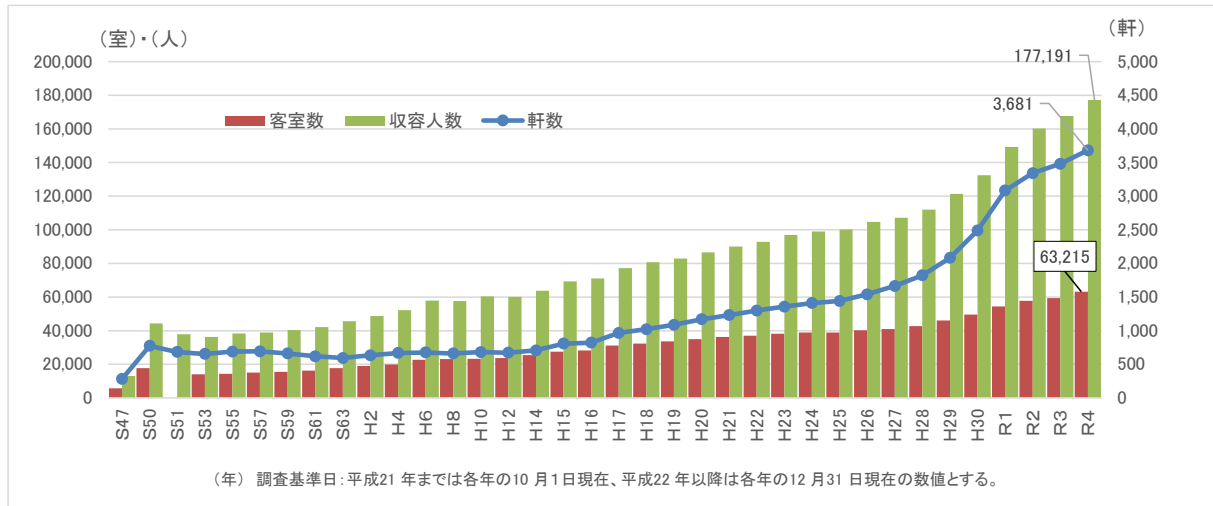
出典: 沖縄県観光要覧(昭和53年~令和2年, 1978年~2020年)及び沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所HP(令和3年~令和5年, 2021年~2023年 月別データ)より作成

②宿泊施設

ア. 宿泊施設の推移（全県）

- 昭和50年(1975年)～昭和63年(1988年)まで微減傾向にあったが、平成になってからは軒数、客室数、収容人数共に右肩上がり増加している。

図:1-10 宿泊施設数等の推移(全県)



※沖縄県内各市町村から、令和4年(2022年)12月31日時点における各市町村所在の宿泊施設について、宿泊施設ごと客室数、収容人数等のデータの提供を受け集計した。ただし、風俗営業等の規制及び業務の適性化等に関する法律第2条6項4号に該当する施設(モーテル、ラブホテル等)及び民泊施設は除く。

出典 沖縄県観光要覧(令和4年度,2022年度)

イ. 北部地域の宿泊施設数

- 沖縄県と北部の施設軒数、客室数、収容人員について県内に占める比率を種別で見ると、民宿等の軒数が38.0%と、ホテル・旅館(大規模)の収容人員が34.0%と高い値を示している。

表:1-5 令和4年(2022年)宿泊施設 軒数・客室数・収容人数

令和4年	軒数			客室数			収容人数		
	全県 (軒)	北部	対県比	全県 (室)	北部	対県比	全県 (人)	北部	対県比
ホテル・旅館	903	163	18.0%	51,163	11,090	22.0%	135,908	36,234	27.0%
大規模 (収容人数300人以上)	126	34	27.0%	28,629	8,026	28.0%	81,657	27,392	34.0%
中規模 (収容人数299～100人)	187	26	14.0%	13,904	1,690	12.0%	32,763	4,988	15.0%
小規模 (収容人数100人未満)	590	103	17.0%	8,630	1,374	16.0%	21,488	3,854	18.0%
民宿等	2,740	1,028	38.0%	11,663	2,892	25.0%	38,099	12,707	33.0%
団体経営施設・ユースホステル	38	12	32.0%	389	107	28.0%	3,184	967	30.0%
合計	3,681	1,203	33.0%	63,215	14,089	22.0%	177,191	49,908	28.0%

※ホテル・旅館＝リゾートホテル、ビジネス・宿泊特化型ホテル、シティホテル、旅館

※民宿等＝民宿、ペンション・貸別荘、ドミトリー・ゲストハウス、ウィークリーマンション

※令和4年(2022年)1月1日～12月31日の期間に新規開業・廃業した施設のほか、新たに宿泊施設の営業・廃業の実態が確認された施設も含む。

出典:沖縄県観光要覧(令和4年度,2022年度)

ウ. 圏域別、市町村別施設数

- ・ 沖縄県の5つの地域別で宿泊施設を比較すると、北部地域は、軒数では最も多く32.7%を占めている。客室数は南部に次いで多く22.3%、収容人員も南部に次いで多く28.2%となっている。

表:1-6 圏域別宿泊施設の状況

	軒数		客室数		収容人数	
	(軒)	(%)	(室)	(%)	(人)	(%)
南部地域	815	22.1%	26,499	41.9%	62,777	35.4%
中部地域	578	15.7%	8,658	13.7%	27,246	15.4%
北部地域	1,203	32.7%	14,089	22.3%	49,908	28.2%
宮古地域	470	12.8%	6,011	9.5%	16,071	9.1%
八重山地域	615	16.7%	7,958	12.6%	21,189	12.0%
合計	3,681	100.0%	63,215	100.0%	177,191	100.0%

南部：那覇市、糸満市、豊見城市、八重瀬町、南城市、与那原町、南風原町、久米島町、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村
 中部：沖縄市、宜野湾市、浦添市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町
 北部：下表参照
 宮古：宮古島市、多良間村
 八重山：石垣市、竹富町、与那国町

表:1-7 北部地域 市町村別宿泊施設の状況

	軒数		客室数		収容人数	
	(軒)	(%)	(室)	(%)	(人)	(%)
名護市	109	9.1%	3,406	24.2%	9,901	19.8%
国頭村	44	3.7%	416	3.0%	1,380	2.8%
大宜味村	23	1.9%	48	0.3%	218	0.4%
東村	42	3.5%	107	0.8%	478	1.0%
今帰仁村	156	13.0%	764	5.4%	2,874	5.8%
本部町	340	28.3%	2,400	17.0%	9,898	19.8%
恩納村	351	29.2%	6,009	42.7%	21,821	43.7%
宜野座村	33	2.7%	166	1.2%	673	1.3%
金武町	50	4.2%	319	2.3%	1,035	2.1%
伊江村	17	1.4%	185	1.3%	484	1.0%
伊平屋村	20	1.7%	135	1.0%	692	1.4%
伊是名村	18	1.5%	134	1.0%	454	0.9%
合計	1,203	100.0%	14,089	100.0%	49,908	100.0%

出典：沖縄県観光要覧(令和4年度,2022年度)

図:1-11 宿泊種別 宿泊施設の軒数(沖縄県・北部地域)

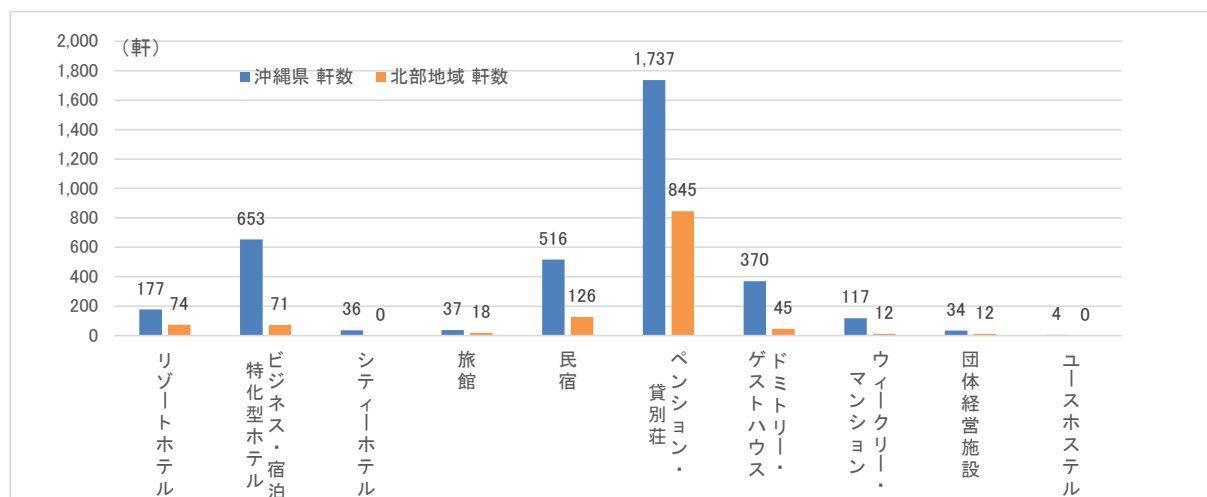


図:1-12 宿泊種別 宿泊施設の客室数(沖縄県・北部地域)

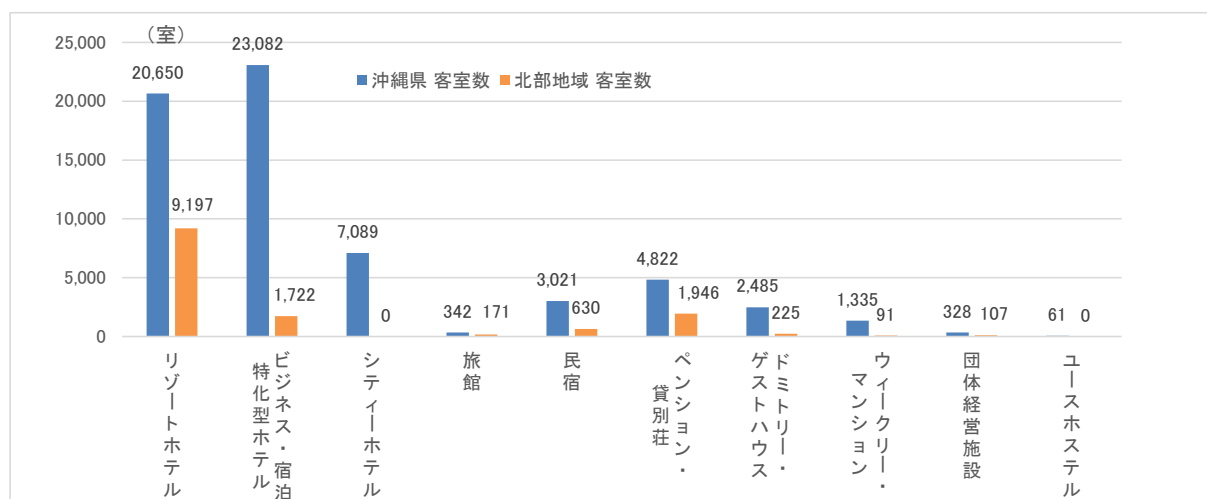
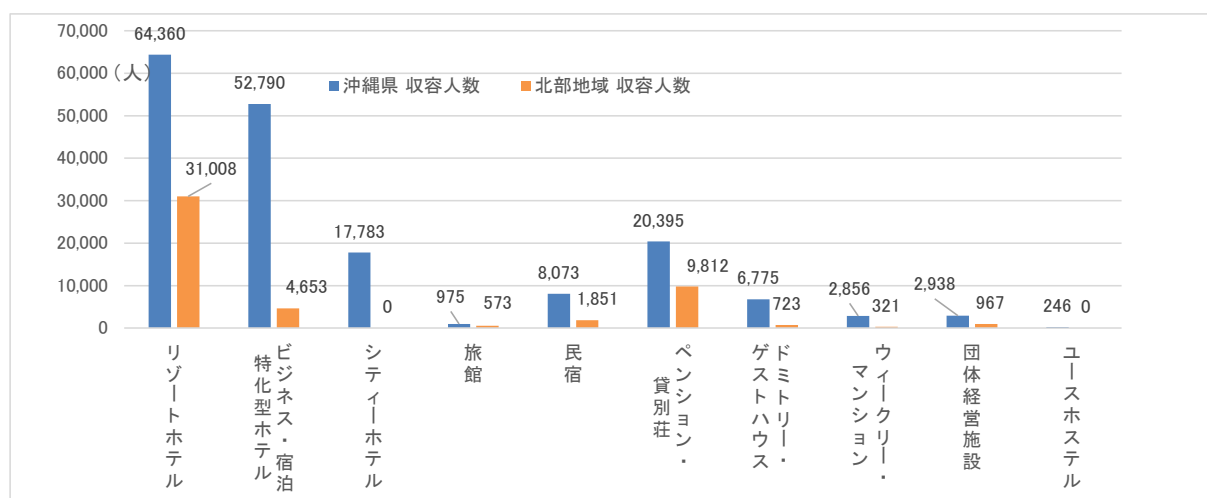


図:1-13 宿泊種別 宿泊施設の収容人数(沖縄県・北部地域)



出典:沖縄県観光要覧(令和4年度,2022年度)

図:1-14 市町村別 宿泊施設の軒数

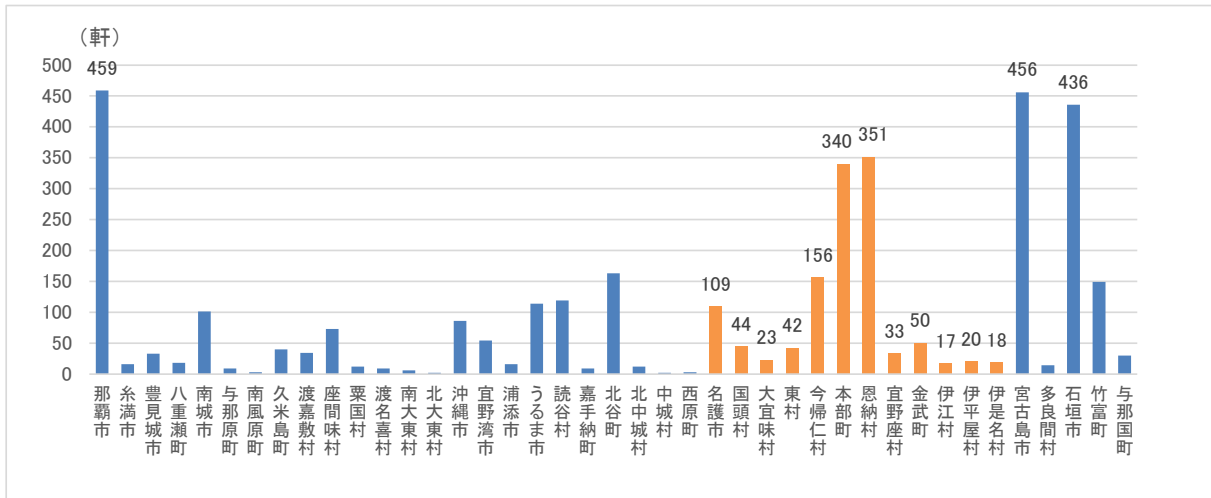


図:1-15 市町村別 宿泊施設の客室数

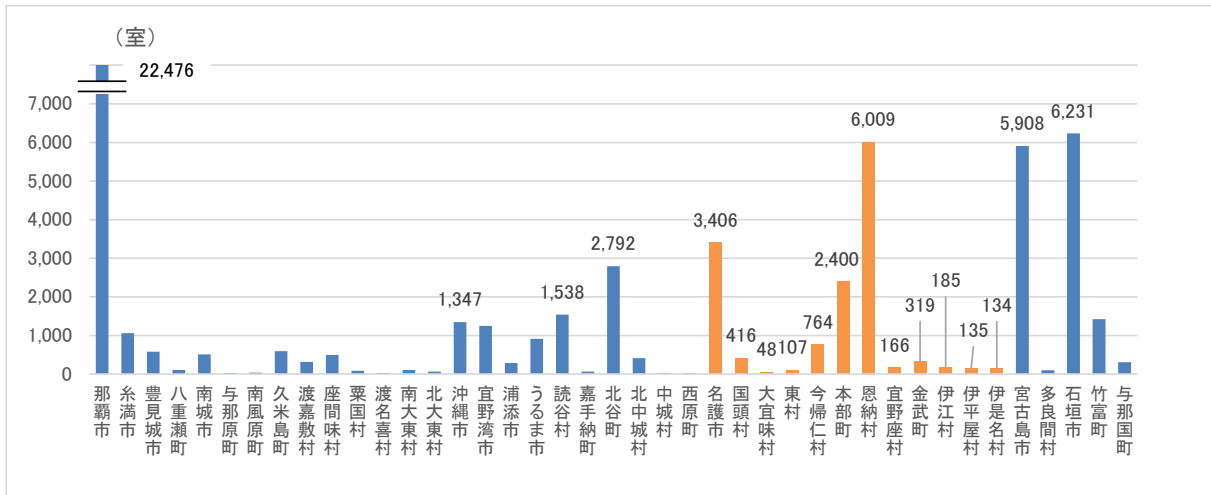
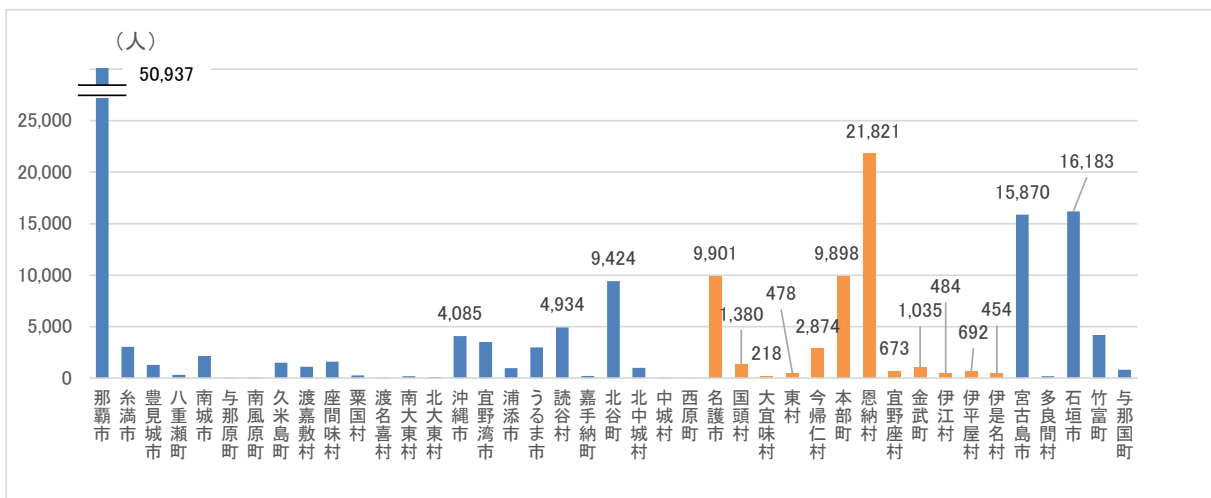


図:1-16 市町村別 宿泊施設の収容人数



出典:沖縄県観光要覧(令和4年度,2022年度)

③観光資源

- 北部地域 12 市町村の主な観光資源(特産品販売、自然、歴史、文化)を以下に整理する。

表:1-8 名護市の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
名護市	道の駅許田	道の駅・特産品・直売店	名護市許田17-1
	羽地の駅	特産品・直売店	名護市真喜屋763-1
	わんさか大浦パーク	特産品・直売店	名護市大浦465-7
	JAファーマーズマーケット はい菜、やんば	特産品・直売店	名護市宮里4-6-3
	ナゴグローサリーストア	特産品・直売店	名護市城1-4-11
	なごアグリパーク	特産品・直売店	名護市名護4607-1
	御菓子御殿名護店	特産品・直売店	名護市中山1024-1
	ナゴパイナップルパーク	観光施設	名護市為又1195
	沖縄フルーツランド	観光施設	名護市為又1220-71
	ネオパーク・オキナワ	観光施設	名護市名護4607-41
	森のガラス館	特産品・直売店	名護市為又478
	オリオンハッピーパーク	特産品・直売店	名護市東江2-2-1
	万国津梁館	文化施設	名護市喜瀬1792
	轟の滝	県指定名勝	名護市数久田594
	名護城跡	史跡	名護市名護5511
	多野岳	名勝	名護市仲尾次
	名護バスターミナル	ターミナル	名護市宮里444-2
	嵐山展望台	展望台	名護市呉我1460
	屋我地島	島	名護市
	カヌチャビーチ	ビーチ	名護市安部156-2
	屋我地ビーチ	ビーチ	名護市屋我地143
	ブセナビーチ	ビーチ	名護市喜瀬1744-1
	名護市民ビーチ	ビーチ	名護市幸喜674-1
	名護ビーチ	ビーチ	名護市
喜瀬ビーチ	ビーチ	名護市喜瀬115	
かりゆしビーチ	ビーチ	名護市喜瀬1996	
21世紀の森ビーチ	ビーチ	名護市宮里2-2-1	

表:1-9 国頭村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
国頭村	道の駅ゆいゆい国頭	道の駅・特産品・直売店	国頭村字奥間1605
	道の駅やんばるパイナップルの丘 安波	道の駅・特産品・直売店	国頭村字安波1089-7
	辺戸岬観光案内所	観光スポット	国頭村
	辺戸岬	名勝	国頭村字辺戸
	茅打バンタ	名勝	国頭村字宜名真
	比地大滝	名勝	国頭村字比地78-1
	大石林山	名勝	国頭村字宜名真1241
	ヤンバルクイナ展望台	展望台	国頭村字辺戸
	やんばるの森おもちゃ美術館	美術館	国頭村(国頭森林公園内)
	奥やんばるの里	宿泊施設	国頭村字奥1280-1
	ヤンバルクイナ生態展示学習施設クイナの森	展示学習施設	国頭村字安田1477-35
	環境省やんばる野生生物保護センターウフギー自然館	博物館・科学館	国頭村字比地7263-1 (R6年度改修工事の為休館)
	奥間ビーチ	ビーチ	国頭村字奥間913

表:1-10 大宜味村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
大宜味村	道の駅おおぎみやんぱるの森ビジターセンター	道の駅・特産品・直売店	大宜味村津波95
	大宜味村農村活性化センター	特産品・直売店	大宜味村根路銘1373
	大宜味シークワサーパーク	観光施設	大宜味村津波1424-1
	芭蕉布会館	伝統工芸品	大宜味村喜如嘉454
	山原工芸店	伝統工芸品	大宜味村喜如嘉2083
	大宜味村旧役場	国指定重要文化財(建造物)	大宜味村大兼久157-2
	ター滝	名勝	大宜味村津波1424-1
	塩屋湾	名勝	大宜味村塩屋
	六田原展望台	展望台	大宜味村田港

表:1-11 東村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
東村	道の駅サンライズひがし	道の駅・特産品・直売店	東村平良550-23
	たかえ特産品直売所	特産品・直売店	東村高江85-30
	慶佐次湾ヒルギ林	国指定天然記念物	東村慶佐次54-1
	東村ふれあいヒルギ公園	公園・緑地	東村慶佐次54-1
	村民の森つつじエコパーク	公園・緑地	東村平良766-1
	東村立山と水の生活博物館	博物館・科学館	東村川田61-1

表:1-12 今帰仁村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
今帰仁村	今帰仁の駅そーれ	特産品・直売店	今帰仁村玉城157
	DRIVEINソリカワルミ	特産品・直売店	今帰仁村天底1124-5
	古宇利島ふれあい広場	特産品・直売店	今帰仁村古宇利323-1
	北山商店	特産品・直売店	今帰仁村今泊170
	古宇利オーシャンタワー	特産品・直売店	今帰仁村古宇利538
	今帰仁城跡附シイナ城跡跡	国指定史跡(世界遺産)	今帰仁村今泊5101
	今帰仁村仲原馬場	県指定史跡	今帰仁村越地
	運天港	港	今帰仁村上運天
	古宇利大橋	観光スポット	今帰仁村古宇利
	ハートロック	観光スポット	今帰仁村古宇利
	トケイ浜	観光スポット	今帰仁村古宇利
	ワルミ大橋	観光スポット	今帰仁村天底
	乙羽岳展望台	展望台	今帰仁村謝名1332
	運天展望台	展望台	今帰仁村運天36
	ウツパマビーチ	ビーチ	今帰仁村

表:1-13 本部町の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
本部町	伊豆味みかんの里	特産品・直売店	本部町伊豆味2846-3
	もとぶかりゆし市場	特産品・直売店	本部町大浜881-1
	田空の駅ハーソー公園	特産品・直売店	本部町具志堅1334
	海洋博公園(美ら海水族館)	公園	本部町石川424
	八重岳桜の森公園	名勝	本部町並里921
	備瀬のフクギ並木	集落	本部町備瀬
	本部港	港	本部町崎本部

表:1-14 本部町の主な観光資源(続 前頁)

市町村	名称・店名	分類	住所
本部町 (続き)	渡久地港	港	本部町谷茶
	瀬底島	島	本部町瀬底
	水納島	島	本部町水納島
	みなとオアシスもとぶ	その他	本部町
	崎本部ビーチ	ビーチ	本部町崎本部
	塩川ビーチ	ビーチ	本部町塩川
	具志堅ビーチ	ビーチ	本部町具志堅
	エメラルドビーチ	ビーチ	本部町石川424海洋博公園内
	水納島ビーチ	ビーチ	本部町水納島
瀬底ビーチ	ビーチ	本部町瀬底5583-1	

表:1-15 恩納村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
恩納村	万座毛周辺活性化施設	特産品・直売店	恩納村恩納2767
	おんなの駅なかゆくい市場	特産品・直売店	恩納村仲泊1656-9
	恩納ガラス工房	特産品・直売店	恩納村富着85
	琉球ガラスていだ工房	特産品・直売店	恩納村瀬良垣1780-3
	沖縄工芸村	特産品・直売店	恩納村恩納6203-1
	御菓子御殿恩納店	特産品・直売店	恩納村瀬良垣100
	万座毛	県指定名勝	恩納村恩納
	真栄田岬	名勝	恩納村真栄田469-1
	みゆきビーチ	ビーチ	恩納村安富祖15/3-2
	ムーンビーチ	ビーチ	恩納村前兼久1203
	サンマリーナビーチ	ビーチ	恩納村富着66-1
	万座ビーチ	ビーチ	恩納村瀬良垣2260
	瀬良垣ビーチ	ビーチ	恩納村瀬良垣1108
	ルネッサンスビーチ	ビーチ	恩納村山田3425-2
	いんぶビーチ	ビーチ	恩納村名嘉真1967-1
	谷茶ビーチ	ビーチ	恩納村谷茶
	マリブビーチ	ビーチ	恩納村山田3085-1
	ミッションビーチ	ビーチ	恩納村安富祖2005-1
	ダイヤモンドビーチ	ビーチ	恩納村瀬良垣
	富着ビーチ	ビーチ	恩納村富着110
	琉球村	観光施設	恩納村山田1130
恩納村観光協会 ふれあい体験学習センター	体験学習施設	恩納村恩納5973	
沖縄化学技術大学院大学	大学等	恩納村谷茶1919-1	

表:1-16 宜野座村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
宜野座村	道の駅ぎのざ	道の駅・特産品・直売店	宜野座村字漢那1633
	松田鍾乳洞	体験交流センター	宜野座村松田78
	漢那ビーチ	ビーチ	宜野座村字漢那
	ヒービー海浜公園	ビーチ	宜野座村松田

表:1-17 金武町の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
金武町	ネイチャーみらい館	体験学習	金武町金武11818-2
	奥首川プロムナード	自然体験学習	金武町金武
	金武大川	名勝	金武町金武564
	金武観音寺	鍾乳洞	金武町金武222
	伊芸ビーチ	ビーチ	金武町伊芸1021-8
	屋嘉ビーチ	ビーチ	金武町屋嘉
	KINサンライズビーチ	ビーチ	金武町金武10819-4
	レッドビーチ	ビーチ	金武町金武

表:1-18 伊江村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
伊江村	伊江島物産センター	特産品・直売店	伊江村川平519-3
	伊江島蒸留所	加工施設	伊江村東江前1627-3
	城山(グスクヤマ)	県指定名勝	伊江村
	ハイビスカス園	観光施設	伊江村東江前23614-1
	リリーフィールド公園	公園	伊江村東江上3087
	ニヤティヤ洞	史跡	伊江村川平
	公益質屋跡	史跡	伊江村東江上
	湧出展望台	展望台	伊江村東江上地内
	伊江港	港	伊江村
伊江ビーチ	ビーチ	伊江村東江前2439	

表:1-19 伊平屋村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
伊平屋村	伊平屋村ぎょぎょう直売店	特産品・直売店	伊平屋村我喜屋217-27
	念頭平松	国指定天然記念物	伊平屋村田名
	クマヤ洞窟	県文・天然	伊平屋村田名
	田名のクバ山	県指定天然記念物	伊平屋村田名
	前泊港	港	伊平屋村前泊
	野甫	島	伊平屋村野甫
	いへや愛ランドよねざき	自然体験	伊平屋村島尻1982
	米崎ビーチ	ビーチ	伊平屋村島尻1982

表:1-20 伊是名村の主な観光資源

市町村	名称・店名	分類	住所
伊是名村	伊是名村観光物産センター	特産品・直売店	伊是名村仲田177-7
	伊是名玉御殿	県指定史跡	伊是名村字伊是名
	伊是名城跡	県指定史跡	伊是名村字伊是名
	銘苅家住宅	国指定重要文化財(建造物)	伊是名村字伊是名
	伊是名村ふれあい民俗館	歴史文化資料館	伊是名村字伊是名196-129
	シラサギ展望台	観光スポット	伊是名村字伊是名
	仲田港	港	伊是名村仲田177-7
	伊是名村体験・交流観光連携施設	体験交流施設	伊是名村字伊是名795-2
	伊是名ビーチ	ビーチ	伊是名村字伊是名

図:1-17 やんばるドライブマップ(北部地域の主な観光資源)



出典: 北部広域市町村圏事務組合